

タウンミーティング記録 未来へ向けて 今、ここから

日 時 令和6年11月2日(土) 午後2時から午後3時30分まで
場 所 鶴ヶ岡会館（鶴ヶ岡三丁目）
参加者 14人



主な意見等

参加者 若者を増やしていく施策の宣伝はどのようにしているのでしょうか。小川町などは積極的に宣伝しています

市長 テレビを使うのは難しいとしても、子育て支援策についてはホームページや冊子などを活用しています。関心がある方はホームページを見ていただいています。特に子育て世代にとっては、体育館に空調があることや待機児童の少なさが魅力的です。ふじみ野市では保育所に入れるという口コミ効果も高く、若年人口の増加率が県内1位になったこともあります。PRの方法をもっと工夫すれば、現役世代への発信の仕方を更に検討していけると思います。

参加者 ホームページは見に行かなければならないですが、小川町はバスに移住の特典が書いてあるなどの方法もとっています。そういった方法も考えてはいかがでしょうか。

市長 ご意見としてお受けします。ありがとうございます。

参加者 南北道路にバスが走っていますが、白線が消えてしまってきています。小学生の通学路になっているところなので危険です。

昔の大井ゴルフセンターのところですが、歩道まで草が伸びてしまっていて、白線も見えなくなっています。旧三菱（三菱自動車販売）の営業所あたりのところ。道路課にも連絡していますが、事前に

草刈りをやってもらえるとありがたいです。

市長 年により天候など状況が違うこともありますが、早めに対応したいと考えています。

参加者 254号線のイチヨウの木の落ち葉の片づけが大変です。剪定してもらいたいです。また、大井ゴルフセンターの道の件ですが、スピードを出す車が多く走っており、児童が通ると危険です。横断歩道も難しいかもしれませんが、対応をお願いしたいです。

市長 川越街道は県が管理していて、県土整備事務所から街路樹の間引きを行うことは聞いています。しかし、木を残してほしいという声も多いです。公園の木も含めて、外見はしっかりしていても中はダメになっている場合があります。落枝で命を落とす事故も起きています。落葉管理もそうですが、街路樹の管理はしっかり行っていきます。

参加者 市民憩の森でバーベキューをしたとき、日陰がなくなっていました。きれいになってありがたいのですが、管理もしっかりしていただきたいです。

市長 市民憩の森についてはナラ枯れが発生しており、全国的にも問題ですが、伐採するしかない状態ですので、状況を見て、しっかり管理をしてまいります。

参加者 最近話題になっている PFAS についてお尋ねします。発がん性があるなど騒がれていますが、ふじみ野市は大丈夫でしょうか。

地下水と川から両方とも大丈夫でしょうか。

市長 基準値を下回っているので安心してしてください。

地下水も川の水も大丈夫です。大井と上福岡の両浄水場とも問題ありません。地下水を多くしたいとは思っていますが、地盤沈下の懸念があるため、川の水を多く混ぜています。

参加者 地盤が良いのか、大きな地震が来ることが少ないですね。

広い敷地などがないと起こりにくいのではないかと思います。竜巻の可能性はあるのでしょうか。

市長 地震に強いと言われる地域で、周囲の市町よりも震度が低いことがあります。市役所に震度計がありますが、周囲より震度が低いことがしばしばあります。断層も少ないエリアです。学校でつむじ風が起きたと聞きますが、竜巻については、分かりかねます。

参加者 鶴ヶ岡は停電もなく住みやすい地域です。移り住んできた方にも町会に入ってもらいたいです。なかなか難しいです。

市長 行政としては任意ですが、できれば参加してほしいと考えています。若い方からは「自治組織に何のメリットがあるのか」と言われることもあります。万が一の時など顔が見える関係は重要です。

参加者 メリットは人それぞれで、伝えるのは難しいですが、参加したいときに参加してくれるだけでも良いと思います。

市長 あるタウンミーティングで若い方が参加してくれたことがあります。その方は当初、自治組織活動に参加するつもりはなかったものの、被災地でのボランティアを通じて地域活動の大切さを感じ、市にアピールしてほしいと言われました。しかし、人それぞれ受け止め方が違うので難しいですが、共存していることを理解してほしいと思います。自治組織に入っていない方でも、入っていないから助けないということはありません。

参加者 目に見えない繋がりを分かっていない方が多く、寂しいと感じます。見守り活動をしており、子どもは未来の宝ですから努力を続けています。見守り活動で大きくなった子どもたちが声をかけてくれることがあります。

市長 地域の見守りなどは、子どもたちもわかっているのではないのでしょうか。いざという時は、町会に入っていない方も協力しようという気持ちはあるはずです。東日本大震災の時も、200名を超える人々が避難してきました。避難者に物資を呼び掛けたら、山のように集まりました。現在は、民生委員の引き受け手が見つからない状況です。昔は名誉職のようなものでしたが、現在では町会にお願いしても見つかりにくく、ご苦労いただいています。市でも協力員制度を作って、負担を減らすなどの対策を講じていますが、一人あたりの負担が増えているため、時代や現場に合わないものは変えなければなりません。

参加者 民生委員は地域の中でも受けてくれそうな方をお願いしていました。公募してやりたい方がいればお願いしたり、もともと役所で働いていた方などをお願いしたりするなど、やっていただける方をお願いしたいと思っています。昔と違い民生委員がなにをしているかわからない方もいるため、法律的に難しいのかもしれないが制度が変わるといいと思います。

市長 現在市内でも民生委員の欠員が出ています。昔は成り立っていたものの、制度そのものを変える必要があるのかもしれない。